

「御言葉の力」

「人はパンのみにて生きるにあらず」

これは、聖書の中でも有名な言葉の一つですが、よく知られているのはここまで、「○○○」によって生きるものである」と続いていることはあまり知られていません。

さて、この「○○○」には何が入るでしょうか？「愛」「周りの人々」「人生の目標」「生きがい」などなど、いろんなことを思いつきますね。私たち人間は、食べ物だけあれば十分、お金さえあれば大丈夫、そんな安っぽい存在ではないのです。もちろん、食べ物は大切です。しかし、それだけではなく、もっと私たちの心を満たしてくれるもの、命を与えてくれるものを必要としているのです。

では、聖書ではこの「○○○」にどんな言葉が入っているでしょうか？意外に思われる方々も多いかもしれませんが、このように書かれています。

「人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言で生きるものである。」(マタイ 4:4)

「神の口から出る一つ一つの言葉」です。それが私たちを生かしてくれるのだとイエスは言われたのです。私たちにとって「聖書」が神の言葉です。その聖書の言葉によって、私たちは生きる力を受け、命が与えられて、歩いていくことができるのです。聖書の中には、神の愛の言葉、励ましの言葉、戒めの言葉、救いの言葉が溢れています。その言葉によって、一つひとつの言葉によって、元気をもらい、生きる希望を与えられます。

最近、よくそのようなことを聞きます。「この聖書の言葉によって力をもらった」「この言葉によって希望をもらった」という話を聞きます。私自身もそうでした。牧師になる学校に入る時に心に響いてきた言葉、25年前、アメリカに来る時に勇気を与えてくれた言葉、どうにもならない痛みを感じている時に、励ましを与えてくれた言葉、一つ一つが、わたしの糧となり、力となったことを思われます。その一つをご紹介します。

「恐れてはならない、わたしはあなたと共にいる。

驚いてはならない、わたしはあなたの神である。

わたしはあなたを強くし、あなたを助け、

わが勝利の右の手をもって、あなたをささえる。」

(イザヤ書 41:10)

是非、みなさんも聖書を手にして読んでみてください。初めての方は「新約聖書」にある「ルカによる福音書」がいいかと思います。そして、是非、教会にもおいでください。聖書の言葉があなたに力を与えてくれます。

「燃える柴のように」

千代崎萌子

私は、6月に大好きなニュージャージー日本語キリスト教会に転入会しました。この度はご挨拶も兼ねて、神様がいかに私の人生に関わって下さっているかをお証をする機会を頂きました。ニューヨークに来て一年経ったこの生活を振り返って、お証致します。

私が昨年、ピアノの勉強のためにこの地に来ることができたのは、神様が与えて下さった奇跡でした。自分の能力や努力ではどうすることもできなかったところに、主が働いて下さり、明らかに道を開いて下さいました。「神様はやっぱり凄いお方だ。この神様に信頼していけば何も怖くない！」と実感できる奇跡だったのです。それなのに、来てからは試練の連続で、何度も心に恐れを抱いては「大丈夫」と自分に言い聞かせる日々でした。特にピアノの練習は不安で、競争の激しい環境に圧倒され、思うように集中できない自分にイライラし、「本当に神様は私をここに呼んでいたのだろうか」と疑うこともあったのを思い出します。

そんな生活の中、ニュージャージー日本語キリスト教会での毎週の礼拝は酸素吸入のようでした。賛美とメッセージ、また皆さまの優しいお心遣いに、いつも励まされました。どんなに沢山の心配事を抱えていても、礼拝に来ると、いつも「神様に信頼しよう」と新たに思われました。今も、よい教会に導かれて本当に感謝だと痛感しています。

そうして数か月が経ち、2月から3月頭にかけて、博士課程を受験しました。そもそもこの地で勉強をしていたのも受験準備のためだったので、大きなプレッシャーを感じていました。怖気づく中、イザヤ14:1「主はヤコブをあわれみ、イスラエルを再び選んで、これをおのれの地に置かれる」という御言葉に励まされ、挑みました。しかし結果は惨敗で、受けた三つの学校どれも落ち、賛美の歌詞にもありますが、目の前が暗くなりました。「神様、あなたが私をここに置きました。明らかにこの道を示して下さいました。なぜですか。次はどうしたらいいのですか。」しかし神様は何も答えて下さいません。

次のステップは、二つの選択肢がありました。帰国するか、OPT(Optional Practical Training と言って、留学生がビザを延長して働くことができる制度)で残るか。そしてOPTをするのだったら、どこで働くのか：以前いたイリノイ州に戻るか、この地にとどまるか。私の中では、導かれて来たこの地に残って、もう一度受験に挑戦したいという思いが強くなりました。しかし、経済的にも、帰国するかイリノイに戻ったかどうか、と親は言います。どうすることもできない状況だったので、神様に切に祈り、委ねました。すると、神様はまたもや私を憐れんで下さり、全ての必要を満たして下さいました。OPT の申請も全てスムーズに済み、こんな恵みは相應しくない私に、主はもう一度チャンスを下されたのです。行先

の答えを下さらないと思っていた神様は、一步一步、暗闇の中で私の手を引いて下さっていたのだと今になって気づきます。

もう一年はここにいられるとわかり、錦織先生に転入会のお話を頂きました。とてもお世話になっているこの教会にもっと関わって何かお返しできたらという思いと、自分の信仰の成長のためにも奉仕を通して神様の働きを拝見したいという思いで、喜んで転入会させて頂きました。BIG(中高生の集まり)のスタッフ、通訳、奏楽の奉仕の機会を頂けているのは大きな恵みです。

特に BIG での奉仕は、始めることができてよかったです。最初にこの奉仕をやってみないかと聞かれた時、とても躊躇いました。日本の教会学校での奉仕は小さい子ども相手だったので、高校生と接する自信がなかったのです。「この子たちのこの大事な時期に、躓かせてしまったらどうしよう。こんな私が高校生にお話なんてできない」と、尻込みしていました。でも、やった方がいい、と聖霊様に突かれる気持ちがありましたし、OPT のため時間にも余裕があったので、引き受けました。当初の恐れも、第1コリント3:6「わたしは植え、アポロは水をそそいだ。しかし成長させて下さるのは、神である」という御言葉で和らぎました。大事なのは私が頑張っただけを語るのではなく、神様がこの子たちの心に働かれることなのだと思わせて頂けたのです。

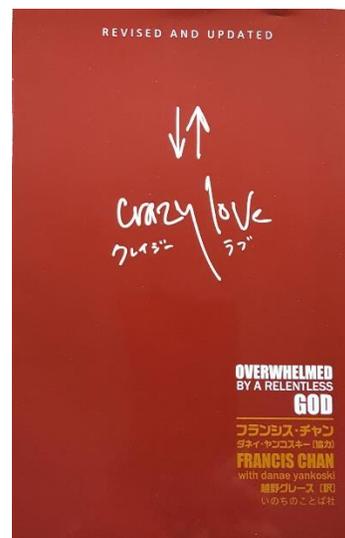
BIG の奉仕を通して、私自身、今のところ二つの面で変化させられています。一つ目は、祈りです。私は自己中心的なので、自分のことはよく祈っていました。でも、9月に教師任命式で前に立たされた時、このままではいけない、毎日彼らの名を挙げて祈ろうと思い立ちました。これまで、誠実に継続して誰かの祝福を祈ったことはあまりなかったのですが、神様がその思いを与えてくださったので、変わることができています。すると不思議なことに、今まで名前もあまり知らなかった高校生達に(勝手に一方的に、ですが……)興味が湧き、もっと関わりたいという思いが与えられました。また、祈りの習慣が変えられたことから、他の様々な悩みの種も、毎朝神様の前に持って行って、委ねて平安を頂く経験をさせて頂けています。

二つ目に変えられたのは、神様をもっと知りたいという渇きです。ある日の BIG でリーダーから「今神様から何を頂きたいか」という質問がされました。勇気や力という答えも挙がり、信仰と答えた子も何人かいたのを覚えています。「神様への信仰をもっと強く持ちたい」という言葉を聞いた時、私は「神様がどんなお方で、どれだけ信頼できる方なのか伝えたい」という思いを与えられました。すると次に心に浮かんだのは、「私自身はどれだけ神様のことを知っているのだろう」という疑問です。ずっと教会に来て、聖書を読んでいた気になっていましたが、何も知らないのだと気づかされました。神の属性に関する本を何冊か読み、祈り求めるうちに、ますます神様の素晴らしさ、私の理解を超えたその深く大きな愛を思い知らされ、もっとこの方を知りたい、そして私の人生をもっとお委ねしたいと渇きを頂くことができました。

この二つの変化は、BIG の奉仕を引き受けていなかったら得られませんでした。そして、受験に失敗し、OPT による時間の余裕がなかったら奉仕を引き受けることはなかったと思います。神様は私の失敗を用いて、私の弱さを示して下さいました。さらに、失意のモーセのもとに燃える柴の中で現れたように、主は奉仕を通してご自身を私に現してくださり、よりすぎる渇きを与えて下さったのです。まだまだ変化の過程の中にいますが、これから神様がどのように私を導いて下さるのか、全ての面で主に信頼して、期待しつつ歩んでいきたいです。

「すべてはキリストのためであることを知っているのも、その『とげ』も、侮辱も、苦しみも、迫害も、困難も、大いに喜んでいきます。なぜなら、弱い時にこそ、私は強いからです。一無力であればあるほど、それだけキリストによりすぎるようになるからです。」(第2コリント12:10)

*** 教会図書紹介 ***



「クレイジーラブ」 (図書番号 710)

著者: フランシス・チャン
翻訳: 越野グレース
発行: いのちのことば社

前号に続き今回も、米国で出版されたベストセラーの翻訳本を紹介します。2008年の出版以来、世界で2百万部以上を売り上げ、多くのクリスチャンに影響を与えている話題作です。

タイトルの「クレイジーラブ」とは、神様が私たちに向けてくださっている熱烈な愛のことです。宇宙を創造された永遠なる方が、小さな存在である私たち一人ひとりのことも大切に造り上げ、こよなく愛してくださっている。その愛の大きさは、ひとり子イエスさまを十字架にかけた行為に表されています。

また、「クレイジーラブ」とは、そんな無尽蔵の愛を受けているクリスチャンが、神様に向ける愛のことです。愛は具体的な行為として現れます。エチオピアで60年以上、一日たりとも無駄にせず風土病のために生涯を捧げた米国人医師。弟を殺害した南米の首狩り族に福音を伝え、20年間ともに暮らした女性宣教師。生活費をすべて投げ、ホームレス

のために食事を作ってふるまう元薬物中毒患者。著者自身も、アフリカを旅行して貧しい人々の生活を直視し、家を売ってお金を得、必要なところに捧げています。

著者が願うのは、この本を通して読者が神様の偉大さと愛に触れること。そして、完全な献身をもって、その愛に応答するようになることです。献身の方法はいろいろで、完全の定義もさまざまですが、主に従うためにすべてを捨てる人を見て人々は「クレイジー」と呼びます。でも、著者は言います。「それほど与えず、仕えず、創造主との時間を過ごさないあなた」「忙し過ぎて創造主であり王である神を礼拝しない人」こそが「クレイジー」ではないかと。聖書の言葉を実践してほしいと言います。「あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい」(マタイ5章 16 節)と。アーメン。(Y.K.)

*** お知らせ ***

- ❖ 11月の教会全体での祈祷会は通常の第3週から第2週の13日に変更になっています。
- ❖ 今年の感謝祭礼拝は11月20日です。日本より当地を訪問される、元ヤクザの伝道者井上薫先生がメッセージをしてくださいます。礼拝後にはジムにて愛餐会も持たれますので、お友達をお誘い合わせの上、おでかけください。
- ❖ サンクスギビングデー当日は、午後4時から教会で、井上薫先生ご夫妻を囲んでディナーを頂きます。参加費無料でどなたでも歓迎です。ぜひ皆さんでお出かけください。
- ❖ 今年のクリスマスの予定は下記のとおりです。
12月11日(日)午後3時30分 ジョイジョイクリスマス
12月24日(土)午後5時30分 クリスマスイブキャンドルライトサービス
12月25日(日)午後1時30分 クリスマス礼拝
- ❖ 1月1日(日)は、通常通り午後1時半から礼拝が持たれます。教会学校など、礼拝前の集まりはお休みとなりますが、礼拝後に「お餅で新年を祝う会」が持たれます。
- ❖ 礼拝のメッセージは英語に同時通訳されております。
- ❖ 日曜日礼拝前の12時45分から、子どもたちのためのThe BRAVE、中高生のためのB.I.G.、英語での成人科バイブルスタディーに加えて、「祈り会」を持っています。礼拝のために、また互いのために祈る集まりです。また、礼拝堂入り口のロビーでは牧師が新しい方々をお迎えしたり、質問のある方や個人的にお話をしたい方々とお話をさせて頂く、自由に立ち寄れるテーブルを持っています。ぜひ、おでかけください。

- ❖ JCCNJ では郵送版に加えて、内容は同じですが、EメールでのPDF版の月報も発行しています。郵送からEメールへの切り替えをご希望される方は、hisho@jccofnj.orgまでご連絡ください。なお、Eメールにご登録頂きました方には、隔月発行の月報に加えて、狭間の月に、Eお知らせをお届けします。
- ❖ 当教会では、みずほ銀行麹町支店(店番号021)に日本円の口座があります。(口座番号は、ニュージャージー日本語キリスト教会一般献金:1085657、ニュージャージー日本語キリスト教会 会堂建築献金:1085665です。

*** 報告 ***

- ❖ 9月24日(日)の礼拝で、石倉久美子姉の転入会式が持たれました。感謝します。
- ❖ 長い間ともに教会生活を送ってきた清水桃子姉は、ハワイに滞在後日本に帰国する予定で、10月初めにニューヨークを発たれました。新しい地での歩みにも多くの祝福がありますようお祈り致します。
- ❖ 9月3日より5日まで、NY州 Ellenville で、ワシントン DC からボストンまでの日本語教会が合同でファミリーキャンプを持ちました。黒田禎一郎先生を主講師に迎え、300人を超える方々が集まり、共に聖書からのメッセージに耳を傾け、祈り、賛美をする時を持ちました。



- ❖ JCCNJ 教会会堂取得のための積立基金は2016年9月末時点で\$562,002.37、日本円 ¥90,761です。各地からご献金下さっている皆様から心から感謝申し上げます。

120 East Pleasant Avenue
 Maywood, NJ 07607
 USA

教会: 201-712-9833
 牧師: 201-251-7977
 HP: jccofnj.org
 牧師メール: pastor.jccofnj@gmail.com

2016年11・12月号 月報

11月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
			10:30 クローキ-教室 (三村宅) 牧師面談日		10:00 Ridgewood 聖書を読む会 (越智宅) 19:15 マンハッタン オアシス (244 Studios 244 W. 54 10th floor.) 15:30 JoyJoyンガ-ス (教会)	
11/6にDaylight Saving Timeが 終わります。時計を1時間戻す のを忘れなく。						
6	7	8	9	10	11	12
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語ハイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 聖餐礼拝(錦織師) 礼拝後 役員会		← 牧師 スタディーグループ →		16:00 JoyJoyキッズ'クラブ' in Maywood	15:30 JoyJoyンガ-ス (教会)	
13	14	15	16	17	18	19
11:45 祈禱会(通常第3週から変更) 12:45 英語ハイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 主日礼拝(錦織師)		*	10:30 クローキ-教室 (三村宅) 牧師面談日	16:00 JoyJoyキッズ'クラブ' in Leonia 19:00 Friday Night オアシス (牧師館)	10:00 Ridgewood 聖書を読む会 (澤田宅) 19:00 Friday Night オアシス (牧師館) 15:30 JoyJoyンガ-ス (教会)	
20	21	22	23	24	25	26
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語ハイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 感謝祭礼拝(井上薫師) 礼拝後 愛餐会	東海岸 日本語 牧師会	*	牧師面談日 (NY)	16:00 Thanksgivingディナー with 井上ご夫妻 (教会)	*	15:30 JoyJoyンガ-ス (教会) 16:30 B.I.G.集会 (教会)
27	28	29	30			
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語ハイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 主日礼拝(錦織師) 礼拝後 教会総会		*	牧師面談日			

12月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
					10:00 Ridgewood 聖書を読む会 (未定) 19:15 マンハッタン オアシス (244 Studios 244 W. 54 Street, 10th floor.) 15:30 JoyJoyンガ-ス (教会)	
13:30 元旦礼拝(錦織師) お餅で新年を祝う会						
1/1/2017						
4	5	6	7	8	9	10
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語ハイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 聖餐礼拝(錦織師)		*	10:30 クローキ-教室 (三村宅) 牧師面談日	16:00 JoyJoyキッズ'クラブ' in Maywood		15:30 JoyJoyンガ-ス (教会)
11	12	13	14	15	16	17
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語ハイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 主日礼拝(錦織師) 礼拝後 JOYJOYクリスマス		*	牧師面談日 (NY)	16:00 JoyJoyキッズ'クラブ' in Leonia 19:00 Friday Night オアシス (牧師館)	10:00 Ridgewood 聖書を読む会 (未定) 19:00 Friday Night オアシス (牧師館)	16:30 B.I.G.集会 (教会)
18	19	20	21	22	23	24
11:45 祈禱会 12:45 英語ハイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 主日礼拝(錦織師) 礼拝後 役員会		*		牧師面談日		17:30 クリスマス・イブ キャンドルライト サービス
25	26	27	28	29	30	31
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語ハイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 クリスマス礼拝(錦織師)		*	*	*	*	*

* 牧師休日